

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会 広報部会 平成29年3月発行

北御牧冬季スポーツ大会開催!



老いも若きも一緒に汗を流しました!
勝ち負けよりも参加すること、
それが北御牧スタイル!



平成29年2月26日(日)
北御牧冬季スポーツ
大会が行われました。

バスケットボール、
卓球、ゲートボール、
ポッチャの4種目に
たくさんのチームが
熱戦を繰り広げました。

地域通貨（エコマネー）の勉強会

2月23日北御牧公民館において、上田市「蚕都くらぶま～ゆ」の代表世話人 安井啓子さんをお招きし地域通貨（エコマネー）の勉強会が開催されました。

「お金こそ全て」という価値観ではなく、地域の豊かな自然や人々が持っている知恵、時間、技能、人柄が地域の宝だと考え、その宝をお互いに交換、交流することで自立した地域と温かい人間関係づくりを目指しているそうです。

では、どんなふうに行われているのでしょうか。

☆“ま～ゆ”は通帳方式

助け合い、支えあった対価は“ま～ゆ”で払います。専用の通帳に“200ま～ゆ支払い”などと記入します。

☆“ま～ゆ”の交換のしかた

「お助け一覧表」から自分が助けてほしいことを探し、相手に直接連絡します。

例えば、「電球交換50ま～ゆでお願い」など。

ま～ゆの金額は、支援してくれる方と決めます。

このように気軽に助け合える関係をつくるために、交流と情報交換の場として毎月ま～ゆ市を開いたり、年間を通じたイベントや会報を発行したりしているそうです。

決まった会則はなく、いつでも必要に応じて良いものに直していく柔軟性を大切にしているというお話につよく共感を覚えました



にこやかに話す安井さん

* 5月24日のFMとうみ「今うわさのあの人」(水曜日午後7時)に出演されます。ぜひ、お聴きください！

北御牧小学校応援団募集のお知らせ

北御牧小学校では地域の皆さまに学校応援団として入っていただくことで、より豊かな学校教育を実現できると考えています。今年度も応援団を募集しますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ① 学習支援者(若干名) 2~4年生の学習支援。週1~2回授業中の支援。
水曜日15時~16時の放課後支援。
 - ② 農作物栽培指導(若干名) 各学年の田畑での作り方指導
 - ③ クラブ活動指導者(若干名) ご自身の得意分野でご指導いただける方。
木曜日15時~15時55分 年間10回ほど。
 - ④ 6年児童のお手伝い体験(農業体験・10軒ほど) 平成29年7月22日(土)午前中
- ①~④のうち、ご協力いただける活動がありましたら、ご連絡をお願いいたします。

連絡先:北御牧小学校 教頭 新井 重則 0268-67-2029

協議会より

少子高齢化に伴い、次代を担う子どもたちは地域の宝です。地域全体で見守り、育みましょう。あなたも、ぜひこの運動にお力をお貸しください。



最近よく聞く「災害時支え合い台帳」って
なんなんだい？

一人暮らしの高齢者や障がい者の方に登録してもらい、
災害時に避難支援活動に役立てるものだよ。
大日向区の取り組みを見てみよう。



「災害時支え合い台帳」作成に取り組んだ大日向区

平成24年に実施した「ご近所アンケート」では、災害時に支援を希望する人や隣近所の助け合いが必要と考えている人がたくさんいました。

そこで、平成26年に「大日向福祉グループ」を作り、平成27年のまちづくり懇談会のテーマとして全区で話し合いを重ね、平成27年11月「災害時支え合い台帳」を作りました。

少子高齢化が進む中、昔のような隣近所の助け合いが希薄になっています。一人暮らしの高齢者や障がいのある方には、地域での支えが必要です。今後は集落単位を通じて地域で助け合う地域互助会などの支援組織に発展させていく必要があると考えています。



「災害時支え合い台帳」に取り組むことによって
お互いに助け合う意識を高めることになるね。

昔は隣組や結があったもんだけどねえ。どんな形にせよ、
隣近所助け合うのはいつの時代でも必要だね。



「災害時支え合い台帳」については、各区で取り組んでいること
と思いますが、詳しいことは、東御市社会福祉協議会に
お問い合わせください。

電話番号 0268-62-4455

移住者をいざなう北御牧の魅力 —田中夫妻の移住ストーリー—



「御牧原のこの風景の中で暮らしたいんです。住むところが見つかるまで、帰れません。」

そう真顔で話してくれたのは、昨年市の移住体験ツアーに参加して、御牧原に一目ぼれ、移住を決意した奈良の田中さんご夫妻です。お二人はこの1月、住まいと仕事を見つけるために、2週間の日程で芸術村のコテージを再び訪れていました。しかし、仕事は見つかったものの、住むところが見つからないまま時間切れを迎えようとしていました。それが冒頭の言葉になったのです。



相談を受けた私たちも、御牧原には物件がほとんど無いことや、また空き家があっても、他人に貸したり売ったりするのが簡単ではないことを知っていました。

それでも、二人の想いを何とかしたい…もう夜も遅かったのですが、藁をもすがる思いで、水科会長さんや小林前区長さんに電話で相談してみました。お二人は快く「そういうことなら、探してみるよ。」とおっしゃってくれましたが、すぐには無理だろう、今回はあきらめてもらうしかないかな…正直そう感じました。

ところが…。翌朝、田中さんと一本ぐるみまで散歩していると、携帯電話が鳴りました。出てみると「家あったけど、見に来れる？」と会長さん。一同ビックリ！「行

きます。行きます。どこですか？」「ほたるの湯のそばだけどお。」…二組の中年夫婦は、ビューラインを1キロ以上えっちらおっちら走りました。

ご夫妻は紹介してもらった家を一目で気に入りました。そして会長さんは、わずかな日数の中で、持ち主との交渉などすべてを、驚くべきスピードで進めてくださいました。

その結果、お二人は希望通り2月末に北御牧の住民となることが決まり、笑顔で帰っていきました。(その後、地域の方々もいろいろな形で二人の受け入れ態勢を整えてくれました。)

今回のことは田中さんの運の強さもあるでしょう。しかしそれにもまして感じたのは、移住したいという強い気持ちを起こさせる北御牧の「風景の魅力」と、もう一つは移住者を積極的に温かく迎え入れてくれる「人の魅力」でした。近々地域ビジョンが発表されますが、この二つの魅力があれば、北御牧の未来はきっと明るい間違いありません。

(文責 「御牧原てらす」小池 淳)



寒い…
ですね

人は温か
いけど…

始まりは昨年秋、初めて御牧原の地に立ち感動！それから約半年、皆様のご支援により、私たちの夢がかなった、ここで暮らす事となりました。分からないとばかりですが、どうぞ宜しくお願い致します。

北部区 田中利夫・優子

「天空の芸術祭 2017」実行委員を募集します！

2017年秋に行われる天空の芸術祭の実行委員を募集します。

○申し込み方法：メール、電話

メールの場合、①お名前 ②電話番号 を記入のこと。

○問い合わせ・申し込み先：

天空の芸術祭実行委員会事務局（北御牧庁舎内）

TEL 0268-67-3311

メール museum.in.the.sky@gmail.com

編集後記

長い冬の眠りから覚めた
草花たちの新芽が目
鮮やかな季節となりました。

4月からは発行回数を増やし、
よりたくさんの情報を発信
していきたいと考えています。

(T・M)